

《ふりかえり もんだい③》

つぎの文の□にあてはまるうごきことばを、
アからオからえらぼう。

① ぞうきんで、ゆかを

② ろうかで、ハンカチを

③ カエルが、すいすい

④ ふねで海を

⑤ 車がどうろを

ア オ ウ イ エ

アはしる

イおとす

ウおよぐ

エふく

オわたる

つぎの文の―のことばは、この文の中ではまちがったことばづかいをしています。文のないようにあうように□の中に書きなおそう。

【れい】シチューがおいしくできた。

おいしく

① あまくチョコレートを食べた。

あまい

② へやがあかるいになった。

あかるく

③ かみを切ってかわいくなった。

かわいく

④ ほめられて、うれしく気持ちになった。

うれしい

つぎの文の□にあてはまるようすことばを、
アからオからえらぼう。

① 赤^{あか}ちゃんが□ねむっている。

② くもが□うかんでいる。

③ かぜがなおって□している。

④ 雪^{ゆき}の上^{うへ}を□すべる。

⑤ ボールが□ころがっていく。

アーころころ イーすやすや ウー^{ふう}か^{ふう}か

エーぴんぴん オーすいすい

ア オ エ ウ イ

つぎのことばを【おわったことがわかる】ように、
□の中^{なか}に書^かきなおそう。

【れい】はしる↓

はしった

① たべる

↓

たべた

② はいる

↓

はいった

③ のむ

↓

のんだ

④ おどろく

↓

おどろいた

⑤ つく

↓

ついた

⑥ まわす

↓

まわした

つぎの文の□にあてはまるようすことばを、
アからオからえらぼう。

① ころんで、ひざを

② えんぴつで、につきを

③ ハじに家を

④ ようやくお店に

⑤ ボールをとくまで

アーでる イーかく ウーうつ

エーはいる オーなげる

オ

エ

ア

イ

ウ

つぎの文の―のことばは、この文の中ではまちがったことばづかいをしています。文のないようにあうように□の中に書きなおそう。

【れい】ひこうきが、ちかいにせまってきた。

ちかく

① とおいの方から、声が聞こえてきた。

とおく

② シャベルで穴をふかいほる。

ふかく

③ だれよりも、はやいもんだいをといた。

はやく

④ りんごの絵をあかいぬった。

あかく

つぎの文の□にあてはまるようすことばを、
アからオからえらぼう。

① 友だちと□ないしよ話をする。

② 車内は□だった。

③ 熱があつて□する。

④ 星が□かがやいている。

⑤ 風車が□まわっている。

アーひそひそ イーがらがら ウーふうふう

エーくるくる オーきらきら

エ オ ウ イ ア

つぎのことばを【おわったことがわかる】ように、
□の中に書きなおそう。

【れい】あるく↓

① およぐ↓

② つつむ↓

③ はなす↓

④ すわる↓

⑤ くつつける↓

⑥ つかむ↓

あるいた

およいだ

つつんだ

はなした

すわった

くつつけた

つかんだ

つぎの文^{ぶん}し^しょうをよんで^よん^んで^でと^とい^いに^に答^{こた}えよう。

シャボンだま

① シャボンだま^①とんだ

やね^①までとんだ
やね^①までとんで
こわれてきえた

② シャボンだま^②きえた

とば^②ずにきえた
うまれてすぐに
こわれてきえた

③ 風^{かぜ}、風^{かぜ}、ふく^③な シャボンだま^③とばそ



(1) —せん①「シャボンだま^①とんだ」と、ありま
すが、どこまでとんだのでし^しょう。□に入^{はい}ること
ばをかんがえて書^かこう。

やね

までとんだ

(2) —せん②「シャボンだま^②きえた」と、ありま
すが、このシャボンだまは、どんなふう^{ふう}にきえてしま
いましたか。□に入^{はい}ることばをかんがえて書^かこう。

とばずに

きえた

(3) —せん③「風^{かぜ}、風^{かぜ}、ふく^③な」と、ありますが、
なぜ、こんなことを言^いっているのだと思^{おも}いますか。
あなたのかんがえを□に書^かこう。

例

なんどふいても、シャボン
だまはすぐに消えてしま^う
から、おうえんするつも^り
で言^いったと思^{おも}います。

つぎの文^{ぶん}しようにをよんでといに答^{こた}えよう。

まじよは、とうとう坂^{さか}をのぼりきりました。

フーッと、大^{おお}きないきをはいてから、ゆっくり後^{うしろ}ろをふりかえりました。

すると、おばちゃん、だいじょうぶ？^①」と、

ほほをまっ赤^かにした男^{おとこ}の子^こが、まじよの顔^{かお}をのぞきこんで言^いいました。まじよは、そんなふうに

だれかに聞^きかれたことがなかったので、どぎまぎしました。「ゼーんぜん、へっちゃらさ。」と、

つよがりを言^いいました。^②本当^{ほんとう}はクタクタだったのです。まじよは、^③クスノキの下^{した}にペタリとすわり

こんで、しばらく休^{やす}むことにしました。

(1)ーせん①「おばちゃん、だいじょうぶ？」

だれが、だれに言^いっているのですか。□に入^{はい}ることばをかんがえて書^かこう。

おとこのこ

が

まじよ

に言^いっている

(2)ーせん②「つよがりを言^いいました」とありますが、どんなつよがりを言^いいましたか。まじよが言^いったことばを書^かこう。

ゼーんぜん、へっちゃらさ

(3)ーせん③「クスノキの下^{した}にペタリとすわりこんだ」とありますが、まじよは、なぜそんなことをしたのですか。□に入^{はい}ることばをかんがえて書^かこう。

ほんとうはクタクタ

だったから

(4)クタクタをつかって、みじかい文^{ぶん}をつくろう。

例

きようはたいそうきようしつに
いってからクタクタにつかれて
家^{いへ}にかえってすぐ寝^ねました。

つぎの文^{ぶん}し^しょう^{しょう}をよんでといに答^{こた}えよう。

学校^{がっこう}からいそいで帰^{かえ}ると、きつとおばあちゃん

からにもつがとどいているはず^{はず}です。だって、

今日^{きょう}は私^{わたし}のたんじょう日^び。①おばあちゃんが、まい

年^{とし}おくってくれる手紙^{てがみ}と、プレゼントを楽^{たの}しみに

しています。げんかんのドアを開^あけると、

「まなちゃん、おかえりなさい、おばあちゃんか

らプレゼントがとどいているわよ。」とお母^{かあ}さん

が言^いいました。「わあい、何^{なん}だろう。」

はこを開^あけてみると、中^{なか}にはかわいいクマのぬい

ぐるみが入^{はい}っていました。

(1)ーせん①「おばあちゃんが、まい年^{とし}おくつ

てくれる」のは、何^{なに}と何^{なに}ですか。□に入る^{はい}ことは

をかんがえて書^かこう。

てがみ

と

プレゼント

(2)文^{ぶん}の□には、どんなことばが入^{はい}りますか。アか
らエからえらぼう。

ア おこりながら イ うれしそうに

ウ さみしそうに エ びっくりしながら

イ

(3)なぜ、今日^{きょう}、まなさんはプレゼントをもらえるの
ですか。□に入る^{はい}ことはをかんがえて書^かこう。

今日は

(まなさんの)

たんじょうびだから

(4)おばあちゃんの手紙^{てがみ}には、どんなことが書^かいて
あったと思^{おも}いますか。よそうして書^かいてみよう。

例

まな、7さいのおたんじょうび
おめでとう。ぬいぐるみ、たい
せつにしてね。

つぎの 文しようによんでといに答えよう。

ぼくはお昼ごはんを食ると、すぐにぶうこのところに走って行ってみた。「うわーい、パパ、ママ。ぶうこがまたこつこをうんでるよ。」

すると、お父さんとお母さんが、とびだしてきた。ぶうこは、また、つぎつぎと子ぶたをうみつづけて、とうとうあと五ひきもうんだのだった。お父さんが、うれしいひめいをあげた。①「うわー、十三びきもだ。」ぼくは、お母さんにぶたごやのさくの中に入れてもらって、「ひとつ、ふたつ、みつつ、よつつ。」と、ぶうこのおっぱいをかぞえはじめた。②十二しかなかった。「十二しかないわ。だいじょうぶかしら。」お母さんが言った。

「ぶたのこぶた十三びき」友田多喜雄

(一) ぶうことは、何の名まえですか。□の中に書こう。

ぶた

(2) こつことは、何のことですか。□の中に書こう。

こぶた

(3) —せん①「うれしいひめいをあげた」とありますが、だれが、どんなことを言ったのですか。□の中に入ることを書こう。

おとうさん

が

うわー、十三びきもだ

と言った。

(4) —せん②「だいじょうぶかしら」とありますが、お母さんは、何のことをしんぱいしているのですか。□の中に入ることを書こう。

こぶたは

十三びき

うまれたのに

ぶうこのおっぱいは

十二しかない